

# みんなの知りたい! なんでも Q&A



辻野学芸員

恐竜（きょうりゅう）が生きていた時代、鳥のように空を舞っていた生き物がいたんだ。それは鳥じゃなく、恐竜のような体に翼を持った生き物で「翼竜（やうりゅう）」と呼ばれているんだ。今回は、その翼竜についてお話をしよう！



今週のテーマは

## 翼竜

文：徳島県立博物館・辻野泰之学芸員  
絵・デザイン：徳島新聞写真美術部・大塚吉雄

Q.翼竜の化石は、どこから見つかりますか？

翼竜は、世界中の中生代（約2億1000万年～6550万年前）の地層から発見されているよ。ただ、翼竜の骨は、こわれやすいため、保存状態の良い翼竜化石が出る場所は多くないんだ。翼竜化石の産出地としては、最古の鳥で知られる始祖鳥（しそちょう）が発見されたドイツ南部にあるゾルンホーフエンというところが有名だよ。  
日本でも北海道から九州まで約30点の翼竜の化石が発見されていて、徳島に近いところでは、淡路島南部の約7000万年前の地層から翼竜化石が発見されているよ。

Q.代表的な翼竜はどんなものですか？

比較的の名前が知られている翼竜は、白亜紀後期（約9000万年前～7400万年前）に生きていたプテラノドンだね。また、世界最大の翼竜として知られるケツァルコアトルスも有名だよ。ケツァルコアトルスは、翼を広げた時の大きさが10メートル以上と推定されているよ。

Q.翼竜は恐竜の仲間なのですか？

翼竜は、「翼のある恐竜」とよく勘違いされるけど、恐竜の仲間ではないんだ。恐竜に近い爬虫類（はちゅうるい）の仲間、恐竜と親戚関係にあるような生き物なんだ。翼竜は、今から約2億2000万年前、三畳紀（さんじょうき）という時代の後半に恐竜と同じ先祖から進化したと考えられているんだ。恐竜が出現した時期とほぼ同じ頃に翼竜も現れたんだ。また、絶滅も恐竜と同じ時期の約6550万年前なんだ。



アンハングエラ

※想像図

平均的な人

Q.翼竜は何を食べていたのですか？

翼竜の一部のグループの化石のお腹のあたりから魚や甲殻類（エビやカニの仲間）の化石が見つまっているよ。また、翼竜の歯の形から、どのようなものを食べていたかも想像することができるんだ。トゲ状の歯を持っていた翼竜は、魚などを丸のみしていたと想像できるし、細長いヒゲのような歯をもった翼竜は、水中から餌をこしとって食べていたと想像できるよ。

するどい歯が  
ならんでるね！



アンハングエラ（頭骨 レプリカ）（時代：中生代白亜紀 産出地：ブラジル）  
徳島県立博物館蔵

コラム 翼竜は地上をどのように歩いたのかな？

1980年代までは、翼竜が二足歩行だったのが、それとも前足をつかった四足歩行だったのかという歩き方については、謎だったんだ。けど、1990年代になって、翼竜の足跡化石が確認されて、翼竜が四足歩行だったことが証明されたんだ。